

目指すべき地域組織(案)

地域名:小国地域

《前提となる考え方》

- ・新たな中心組織は、地域の代表機関として位置づけ、その機能や役割は、現在の地域委員会をほぼ継承。(附属機関ではなくなりますが、要望や意見を上げる等は同じ)
- ・目指す姿は令和4年から6年ころの実現を見据えた姿となります。(R3は現在の地域委員制度を継続し、協議・検討を重ね、ゴールを目指すイメージ)

1 組織

(1) 中心となる組織名(下図 **青** 部分)

小国地域会議(仮)

(2) 中心となる組織の構成団体・メンバー(下図 **ピンク** 部分)

①コミセン協議会 ②総代連 ③観光協会 ④商工会 ⑤チームおぐに

(3) 話し合いのテーマにより連携することが想定される団体・メンバー(下図 **緑** 部分)

①社協 ②若者団体 ③子育て団体 ④老人会 ⑤NPO ⑥農業団体 ⑦企業

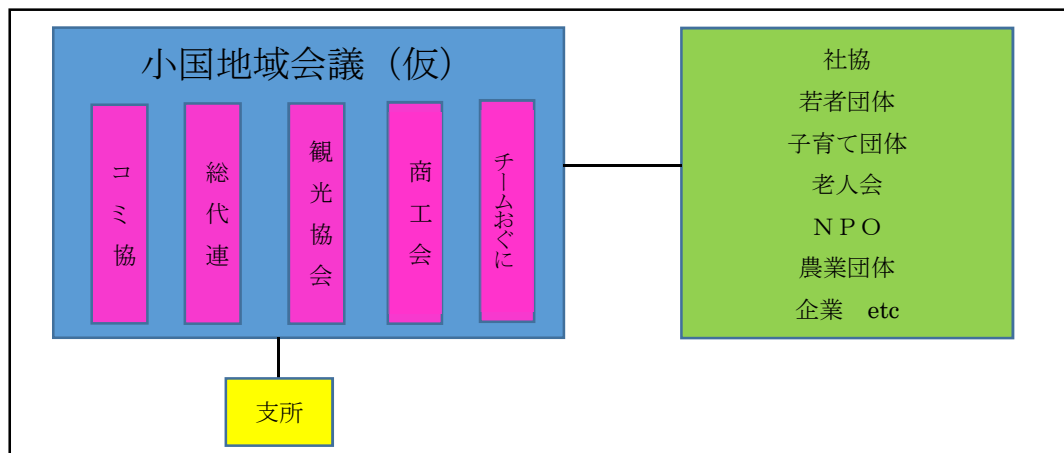
(4) 支所との関係・立ち位置(**黄** で図上に示してください、説明は任意)

地域会議のパートナーとして活動を支援するほか、本庁・支所との繋ぎ役も担う。

(5) 移行時期(目標)

令和4年度

【組織図例】



2 組織を運営する上での懸案・要望事項(制度、予算、人、運営方法等)

- ・地域会議が開催する役員に対する委員報酬の予算を要望。
- ・地域会議と連携団体で、勉強会や意見交換会を開催する際、講師謝金や連携団体への費弁等の予算を要望。
- ・地域会議が自由裁量で使える予算を要望。
- ・地域会議を運営する事務局員の人的補強を要望。
- ・コミセンに、まちづくりの業務がプラスされる場合は、人的補強や業務量増に伴う賃金の増額を要望。

3 その他(地域事情、特に考慮すべき事項等があれば記入)

- ・地域と各組織の連携のため、R3年度内に集落支援員2名の配置を要望。

4 新たな組織で取り組んでみたいこと(参考)

- ・積極的な広聴・情報発信(SNS、なんでも相談、広報誌、報告会等)で地域の一体感をつくり、結果周知を図る。
- ・地域会議メンバーと市長の意見交換の機会をつくる(モチベーションを高める)。